

第3学年国語科書写（毛筆）学習指導案

日 時 平成23年11月11日（金）2校時
児 童 3年1組 男19名女16名計35名
指導者 T1 山本賢治
T2 瀬川美智子

- 1 単元名 文字の中心に気をつけて書こう（光村図書P30～P33）
- 2 単元について

(1) 児童の実態

児童は、4月から毛筆の学習を始め、意欲的に学習に取り組んでいる。第1単元「筆となかよしになろう」の学習では、これまでの硬筆の学習との違いに戸惑いながらも、筆を使って書く線や文字の特徴にも気づくことができるようになってきた。第2単元「ほ先の向きを知ろう」からの学習では、穂先の向きや力の入れ方を学習し、漢字を書くうえで基本となる点画の書き方を学んできた。穂先の向きや筆圧の加え方は、「トン、スー、トン」などの言葉を使ったり、筆圧の強さを数値化したりして、多くの児童が理解できている。

7月に行った意識調査では、ほとんどの児童が「書写の時間が好き」と答えている。多くの児童が毛筆の学習に意欲的である。しかし、まだ思い通りに筆を動かさず、毛筆学習の難しさを感じてきている児童もいる。

(2) 教材について

学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の書写に関する事項は、「ア 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと」「イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと」「ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと」である。

本単元では、文字の形を整えて書くために欠かせない要素である文字の中心を学習する。文字の中心の感覚を高めていくことは、行の中心をそろえて書くことにつながり、配列の感覚を高めるためにも重要である。

(3) 指導にあたって

本単元では、文字の形を整えて書くために必要な文字の中心に気をつけて書く学習をする。学習を進めるうえで、次のことに留意しながら、指導にあたっていく。

- ・ 毛筆学習においても、他教科の学習過程と同様に、自らが課題をもち、その解決を図りながら学習を進めることを大切にしていく。
- ・ 文字の中心をとらえるうえで、文字の外形を考えることを大切に扱い、中心の目安になる画がない漢字でも中心を見つけられるようにしていく。
- ・ 練習・批正の場面では、ワークシートや練習用紙を段階的に活用することで、児童ができる喜びを味わうことができるようにする。
- ・ 今回、低学年の硬筆学習で学んできた文字の中心を毛筆学習で学び直し、定着を図る。そこで学んだことを再度硬筆で書く時間を大切に扱い、日常的な書写力の向上を目指したいと考える。

3 単元の目標

【毛筆】 文字の中心に気をつけて「火山」を書くことができる。

【硬筆】 横書きの書き方や片仮名の筆使いを理解し、硬筆で書くことができる。

4 単元の評価規準

【関心・意欲・態度】 文字の中心について、意欲的に調べようとしている。

【知識・理解】 文字の中心を理解している。

【技能】 文字の中心に気をつけて、「火山」などを書いている。

5 単元の指導計画（4時間）

- (1) 毛筆で「火山」の試し書きをする。
いろいろな文字の中心の見つけ方を確認する。 … 1時間
- (2) 文字の中心に気をつけて、毛筆で「火山」を書く。 … 1時間（本時）
- (3) 「火山」のまとめ書きをする。 … 1時間
- (4) 横書きの書き方を理解し、硬筆で語句やローマ字などを書く。 … 0.5時間
片仮名の筆使いや筆順に気をつけて硬筆で片仮名を書く。 … 0.5時間

6 本時の指導（2/4）

(1) 目標

文字の中心に気をつけて、「火山」を書くことができる。

(2) 評価規準

【技能】 文字の中心（左右の幅）に気をつけて、「火山」を書いている。

(3) 研究に関わって

本時は、「できる」場の工夫に重点をおいた指導を行う。

- ・児童の意欲を喚起し、児童の課題を自ら進んで解決できるような、練習の仕方や練習用紙を工夫する。
- ・練習用紙を段階的に使う方法や同じ練習用紙を繰り返し使うなど取り組み方も工夫する。

(4) 展開

段階	学習活動	教師の支援	準備・評価 (◎)
気 づ く 10	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 中心に気をつけて、「火山」を書こう。 </div> <p>3 基準を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 〈基準〉 ・「火」3画目と4画目の始筆が中心を通る。 ・「山」1画目が中心を通る。 </div> <p>4 各自の課題を確認する。</p>	<p>・前時の学習を振り返り、文字の中心の学習について確認する。</p> <p>・中心となる画の目安だけでなく、左右の幅（点画の間隔）にも目を向けさせる。</p> <p>・前時の学習をもとに、本時の課題をもたせる。その際、「文字の中心」という観点を大切にす。</p>	<p>「火山」の拡大文字</p> <p>ワークシート</p>
で き る 30	<p>5 基準を意識し、自分の課題にそって「火山」を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に合った練習用紙や練習方法を選ぶ。 <p>6 自己批正を行う。</p>	<p>・必要に応じて、映像や示範によって、効果的な課題解決ができるようにする。</p> <p>・さまざまな練習用紙を活用し、効果的に練習できるようにしたい。</p> <p>・練習用紙を段階的に使う方法や同じ練習用紙を繰り返し使うなどの工夫をさせたい。</p> <p>T 2：個に応じて、筆使いの指導を行ったり、練習用紙の使い方について助言したりする。</p> <p>・自分の課題に対してどのように取り組んだかについても振り返らせる。</p>	<p>練習用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心線と始筆 ・骨書き ・補助線 ・部分練習など <p>◎文字の中心に気をつけて、「火山」を書くことができたか。</p>
ま と め る ・ 生 か す 5	<p>7 清書をする。</p> <p>8 評価・反省する。</p> <p>9 次時の課題を確認する。</p>	<p>・本時の学習をもう一度確認させ、学習の成果を生かして清書できるように促す。</p> <p>・本時の学習で分かったことやできるようになったことを整理する。</p> <p>・学習の振り返りを行い、次時の学習につなげる。</p>	